

## 性 能 表

品 名	HKPシリーズコネクタ		製品番号	HKP-(芯数)M( ) 別表1. 参照
適用・引用規格				
定 格	電 圧	AC-DC 300V		
	電 流	3A(1端子あたり)		
	温 度	-40°C ~ +105°C		
	湿 度	相対湿度 90%以下		
	使用周波数範囲	Hz ~ Hz		
適合コネクタ	HKP-(芯数)FD2 等			

## 特 性

No	項 目	条 件	認定 試験	製品 検査
1	構造・形状・寸法	付図に適合すること。	○	○
2	材料・仕上	同 上	○	○
3	かん合性	適合コネクタと異常なくかん合すること。	○	○
4	絶縁抵抗	DC500Vで測定したとき 1000MΩ以上	○	○
5	耐電圧	AC1000V(実行値)を1分間印加して絶縁破壊のないこと。	○	○
6	耐振性	周波数 10~55Hz, 振幅 1.52mmにて試験後、割れ等のないこと。	○	—
7	耐衝撃性	加速度 490m/s <sup>2</sup> 3軸方向に各3回にて試験後、割れ等のないこと。	○	—
8	温度サイクル	温度 -55°C~+85°Cにて試験後、割れ等のないこと。	○	—
9	耐湿性	温度 40°C, 相対湿度 90~95%, 時間 96Hにて試験後、4項 絶縁抵抗, 5項 耐電圧の条件を満足すること。	○	—
10	塩水噴霧	5%塩水, 時間 48Hにて試験後、はなはだしい腐食がないこと。	○	—
11	硫化水素ガス	温度 40°C, 濃度 3ppm, 時間 96Hにて試験後、はなはだしい腐食がないこと。	○	—
12	半田付け性	フラックスに浸漬した後、半田槽245°Cに5秒間浸漬して、半田濡れ95%以上のこと。	○	—
13	半田耐熱性	260°Cの半田槽に10秒間浸漬して著しい変色、変形のないこと。	○	—
14	耐溶剤性	コネクタを溶剤(注1. 参照)に1分間浸漬後、コネクタのマーキング部を歯ブラシでこすった時、マーキングが半読しにくくなったり、色あせたりしないこと。	○	—
15	コンタクト固定力	絶縁体がコンタクトを固定する力は 9.8N以上	○	—




備  
考

- 注1. 接触抵抗の規格は、雌コネクタ(HKP-( )FD2等)と嵌合した時の値です。  
 注2. フローソルダーをお勧めしますが、手はんだの場合は基板を介在した状態で380°C以下のコテで5秒以下とし、コテ先でコンタクトに負荷を加えないようにしてください。  
 注3. フローソルダー後は必ず、代替フロン系、アルコール系の溶剤で洗浄を行ってください。

3	08.02.06	宮崎	製品追加	樫尾	承 認		検 図		検 図	—	作 成	
2	06.06.19	宮崎	製品追加	海老原								
1	04.12.13	宮崎	製品追加	海老原								
△	年月日	変更者	変 更 内 容	承 認	本多通信工業株式会社		作成 2004年08月05日					

(別表1)

## HKPシリーズ雄コネクタ製品番号リスト

形 状	製 品 番 号
1列ストレートタイプ	HKP-(芯数)M5S( )
	HKP-(芯数)M5T
	HKP-(芯数)MV5S( )
	HKP-Z9-(芯数)
1列ストレートラッピングタイプ	HKP-(芯数)M5WS
1列ライトアングルタイプ	HKP-(芯数)M5LS( )
	HKP-(芯数)MV5LS( )
2列ストレートタイプ	HKP-(芯数)M2( )
	HKP-(芯数)MV2( )
	HKP-(芯数)TM2
	HKP-(芯数)M2WT( )
	HKP-(芯数)M2WT2( )
	HKP-(芯数)M2WT3
	HKP-(芯数)M2WS
	HKP-(芯数)M1( )
	HKP-(芯数)M3T( )
	 HKP-(芯数)M4( )
	 HKP-(芯数)M6, 24, 29, 30
	HKP-(芯数)M8( )
	HKP-(芯数)M12S
	 HKP-(芯数)M31+, 32+
2列ストレートラッピングタイプ	HKP-(芯数)M2W
2列ライトアングルタイプ	HKP-(芯数)M2L( )
	HKP-(芯数)MV2L( )
	HKP-(芯数)MVB2L( )
	HKP-(芯数)M6L( )
2列固定ネジ付きストレートタイプ	HKP-(芯数)M4-S2
2列固定ネジ付きライトアングルタイプ	HKP-(芯数)M4L-S2
2列固定ネジ付きラッピングタイプ	HKP-(芯数)M4W-S2